

平成29年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 公益財団法人愛知水と緑の公社	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 下水道部矢作川・衣浦東部事業所 鬼頭 【0566-48-8210 Fax : 0566-48-8208 awg-g-kt@pluto.plala.or.jp 】
代表者氏名 下水道部長 久保裕志	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 下水道部五条川左岸・新川西部・新川東部事業所 川田 【0568-75-2911 Fax : 0568-75-2913 awg-g-gs@pluto.plala.or.jp 】

部門名 (2) 広報部門②行政広報部門	事例名 ぬいぐるみの下水処理場見学会
---------------------	--------------------

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）

【ぬいぐるみの下水処理場見学会】

普段見学に来ることができない方へ向けて企画した。ぬいぐるみをお預かりし、持ち主に代わってぬいぐるみが処理場見学を行い、その様子をコメント付きのアルバムとしてお渡しするもの。全ページに自分のぬいぐるみが登場するため、親近感を持って読み進めると下水道について理解できる内容となっている。平成28年8月に実施し、当初16名のところ応募者多数により30名まで受け付けた。



図-1) アルバム表紙(左)
図-2) アルバム中身(上)

【下水道の日特別展示】

ぬいぐるみの下水処理場見学会の内容の展示を平成28年9月10日～25日に、愛知県下水道科学館、稲沢市児童センター10ヶ所、一宮市児童館7ヶ所、平和らくらくプラザの計19か所で行った。愛知県下水道科学館では2m×8mサイズ、児童館はB0サイズのポスターを展示した。アンケート回答者数1,493名。中日新聞で紹介され、多くの方に見てもらうことができた。児童館用ポスターは他のイベントでも活用可能。



図-3) 愛知県下水道科学館（左）と児童館（右）の展示

【ネットを活用し、スライドショー配信】

見学会のスライドショーをYouTubeで配信することで、今後も啓発に活用できる。<https://www.youtube.com/watch?v=E1aTVc8zUFU>

*UFO、ヘルメットは手作り、撮影、印刷、ポスター等の展示物の作成は全て職員で行った。

エントリー事例の特徴（施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います）

- ・ぬいぐるみを活用することで、下水道を身近に感じることができる。自分が見学しているかのように読むことができ、興味を持って下水道のしくみについて理解してもらうことができる。
- ・ぬいぐるみの持ち主や展示を見た人が自身も浄化センターを見学したい、もっと詳しく知りたいといった興味や関心を得ることができた。また、珍しい・面白い・可愛いことから他の人にも教えてあげたいといった感想が多く、クチコミ効果もあった。
- ・児童館といった他分野へ進出することで、子どもだけでなく、児童館の先生やお迎えの親といった、これまで下水道を知らなかった住民等へ広報できた。
- ・児童館用ポスターは、大学祭、市町のイベント、下水道科学館のイベント等でも活用したり、スライドショーをネット配信したりすることにより、イベント終了後も啓発に活用できる。

付属資料の提出	あり ・ なし （どちらかに○）
---------	------------------